

平成 26 年 12 月 19 日

STAP 現象の検証結果の公表に際してのコメント

理化学研究所  
理事長 野依良治

STAP 細胞にかかる研究論文は、本年 7 月 2 日に Nature 誌論文二篇が撤回されました。これをもって記述された内容はすべて削除され、科学界においては STAP 論文は白紙に戻ったこととなります。

しかし、STAP 現象は科学界を超えて、社会的問題にもなったことから、理研は、一般社会、国民の関心に応える道でもあると考え、研究不正再発防止改革推進本部の下で検証を実施してきました。

今回、相澤慎一実験総括責任者による検証実験を進め、加えて、小保方晴子氏本人による検証実験を第三者立ち会いの下で、11 月末を期限として実施しました。

その結果、今回の検証において STAP 現象の確認には至らなかったことから、これをもって検証計画を終了することを、ここに報告するものです。

以 上